

(様式2) に記載する内容の説明です。

経営計画書

1. 企業概要

昭和60年設立〇〇県の国道〇号沿いの海鮮居酒屋。座席数は60。

週6日 11:00~23:00 営業 (月曜休業)

厨房2人、接客2人 (3人がシフト制)

	売上総額の大きい商品		利益総額の大きい商品	
1位	日替わり弁当	〇千万円	ビール	〇百万円
2位	まぐろ丼	〇千万円	特上にぎり	〇百万円
3位	にぎり	〇千万円	にぎり	〇百万円
4位	ビール	〇千万円	日替わり弁当	〇百万円
5位	特上にぎり	〇千万円	まぐろ丼	〇百万円

売上全体の6割は、周辺に立地する企業の従業員が訪れるランチ (単価平均900円)、残りの4割のうち約半分 (2割) が6人以上による宴会、残り (2割) が5人以下の少人数による夕食。

※どのような製品やサービスを提供しているかお書きください。また売上げが多い商品・サービス、利益を上げている商品・サービスをそれぞれ具体的にお書きください。

2. 顧客ニーズと市場の動向

平日のランチは、競合店がラーメン店1店舗 (単価600円程度)、ファミレス1店舗 (単価800円程度) のみ。12時~13時半の間は満席で行列もできる (12時半頃には10人を超える)。

夕食・宴会については、国道沿いと立地上、アルコールを飲まない一見のお客様が7~8割を占める。一方、常連のお客様は、約10年前には50名ほどいたが、周辺地域で少子高齢化が進み、現在では10名程度まで減少。

夕食では、寿司だけを注文するお客様が約半数、揚げ物・焼き物等寿司以外のメニューを注文するお客様が約半数。

また、平成25年3月に約2km先にチェーン店の「回転寿司A」が開業して以来、売上が2割低下した。

※お客様 (消費者、取引先双方) が求めている商品・サービスがどのようなものか、また自社の提供する商品・サービスについて、競合他社の存在や対象とする顧客層の増減など売上げを左右する環境について、過去から将来の見通しを含めお書きください。

3. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み

当店は、約10km先の漁港における漁師4名と専売契約を結んでおり、その日の朝に獲れたての鮮度の高いネタを刺身・寿司として提供している。その質・味については評価が高く、平成20年には雑誌〇〇に「〇〇県の名店100選」として取り上げられたこともある。

最近立地した回転寿司くらと比較すると、宴会平均単価は2倍近く高いが、それは味・質をお客様が評価されていることを示している。

※自社や自社の商品・サービスが他社に比べて優れていると思われる点、顧客に評価されている点をお書きください。

4. 経営方針・目標と今後のプラン

お客様から味・品質について高く評価いただいていることを活用し、ランチについては単価を100円ずつ引き上げる。

顧客を増加させるため、デリバリーを開始する。当店からの徒歩圏内の人口は減少しているものの、バイクによる配送20分以内の範囲には多くの住居が存在し、特に高齢世帯が多く内食する方が多いため、売上増加が期待される。

まず、本年3月中に新メニューを考案・整備する。4月中にビラを20km以内の全家庭にポスティングする。そして、5月からデリバリーサービスを開始する。

※1. ～3. でお書きになったことを踏まえ、今後どのような経営方針や目標をお持ちか、可能な限り具体的にお書きください。また、方針・目標を達成するためにどのようなプラン（時期と具体的行動）をお持ちかお書きください。

(様式3)に記載する内容の説明です。

補助事業計画書

<応募者の概要>

従業員(注)	人	主たる業種	※日本標準産業分類中分類
資本金	円	創業・設立年月	年 月
連絡担当者	役職	氏名	
	住所	(〒 -)	
	電話番号	E-mail アドレス	
	携帯番号		

(注) 14ページ2.(1)③の常時使用する従業員数の考え方をご参照いただいた上でご記入ください。なお、常時使用する従業員に含めるか否かの判断に迷った場合は、最寄りの商工会議所にご相談いただけます。

※法人のみ

みなし大企業(29ページ【参考2】)の該当の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
--------------------------	----------------------------	----------------------------

1. 補助事業の内容

<p>1. 補助事業で行う事業名 鱈バーガー・鱈チップスの開発 ※本事業で行う事業の内容(タイトルで結構です)を簡略に30字以内でお書きください。</p>
<p>2. 補助事業の具体的内容 鱈のすり身フライを用いてバーガーを開発。20分時間がたっても味が衰えないようなものとする。 また、80gで200円以内で購入できるような鱈を揚げたスナック菓子を開発する。防腐剤を使わずとも1か月以上保存できるもの。 ※本事業で取組む販路開拓などの取組について、何をどのような方法で行うか、具体的にお書きください。その際、これまでの自社・他社の取組と異なる点、創意工夫した点、特徴などを具体的にお書きください。</p>
<p>3. 補助事業の効果 鱈バーガーをデリバリーの目玉商品として広告する。また、斬新・安価な鱈チップスを各種メディアに取り上げてもらい、知名度を向上させる。 ※本事業を行うことにより、売上げ、取引などにどのような効果があるか可能な限り具体的にお書きください。その際、事業を行うことがその効果に結びつく理由も併せてお書きください。</p>

※欄が足りない場合は追加で書類を提出できます。

2. 経費明細表

(単位：円)

経費区分	内容・必要理由	経費内訳（単価×回数）	補助対象経費（税抜）
① 機械装置等費		○円×◇人×□回	***,***
② 広報費		○円×◇部	***,***
(1) 補助対象経費合計			***,***
(2) 補助金交付申請額 (1) × 補助率 2/3 以内			***,***

※ (2) の上限は50万円（雇用を増加させる場合は100万円）

3. 資金調達方法（補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください）

<補助対象経費の調達一覧>

区分	金額 (円)	資金調達先
自己資金	***,***	
補助金 (※1)	***,***	
金融機関からの借入金	***,***	〇〇信用金庫
その他		
合計額 (※2)	***,***	

<補助金相当額の手当方法> (※3)

区分	金額 (円)	資金調達先
自己資金	***,***	
金融機関からの借入金	***,***	〇〇信用金庫
その他		
合計額	***,***	

※1 補助金額は、2. 経費明細表 (2) 補助金交付申請額と一致させること。

※2 合計額は、2. 経費明細表 (1) 補助対象経費合計と一致させること。

※3 補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください

(1. から 3. の各項目について記載内容が多い場合は、行数を適宜増やしてください。)